

笠間稲荷神社と菊まつり



(表紙写真提供：笠間市)

商業と観光の街・笠間に鎮座する笠間稲荷神社は、日本三大稲荷の1つとして知られ、正月三が日には80万人以上もの参拝客で溢れ返り、年間では全国各地から350万人以上が訪れる由緒ある神社です。

御祭神は「宇迦之御魂神」^{うかのみたまのかみ}です。一般的に「お稲荷様」として親しまれるこの神は、稲に宿る神秘的な精霊、つまり、食物の神様として崇められています。また、農業、工業、商業、水産業などの殖産興業の守護神としても信仰されています。

笠間稲荷神社は、白雉^{はくち}2年（651年）に創建されて以来、この地域を守り続けています。江戸時代の末期、安政・万延年間^{まんえん}（1854～1860年）に再建され御本殿は、銅瓦葺^{どうかわらぶき}総櫓^{そうりやき}の権現造^{こんげんづくり}で、昭和63年に国の重要文化財に指定されました。また、御本殿の周囲に施された素晴らしい彫刻は、当時名匠といわれた後藤縫之助・弥勒寺音八・諸貫万五郎の作品であり、一見の価値があります。

笠間稲荷神社では、天高い秋空が眩しい毎年10～11月、日本で最も古い菊の祭典「笠間の菊まつり」が行われます。この菊まつりは、先々代の宮司・埜嘉一郎が「菊花は人の心を和める」との想いから、日露戦争によって荒廃した人々の心を和ませるため、明治41年（1908年）、神社に農園部を開園したのが始まりで、今年で第110回目を迎えます。

期間中は、約1万鉢の菊や色鮮やかな菊人形が飾られるほか、作物の豊凶^{やぶさめ}を占う神事流鏝馬^{りやま}などが開催されます。

ご家族ご友人とともに、青々とした秋空のもと、荘厳な神社と色鮮やかに咲き誇る菊をご覧になってはいかがでしょうか。



◆住所：茨城県笠間市笠間1番地
アクセス：
【車】北関東自動車道友部ICより約15分
【電車】JR水戸線笠間駅よりバスで約5分
開催期間：10月21日から11月26日まで
神事流鏝馬：11月3日(金)

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ